WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ
世界に希望を生み出そう

R.I.会長　ゴードンR・マッキナリー
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ
●会長　林 秀樹　●副会長　三井 英和・酒井 喜雄
●幹事　飯島 幸宏　●会報委員長　斉藤 達也

Rotary　世界に希望を生み出そう

第２９２９回例会（令和５年11月27日）

ホームページQR

[会長挨拶]　林　秀樹　会長

昨日は真冬の寒さだと思えば、明日は20度近くまで気温が上がるという予報があるなど、気温差の激しい毎日が続いています。インフルエンザをはじめとした感染症も流行っており、気の抜けない毎日が続いております。

一昨日の土曜日にサッカーＪ１の優勝がビッセル神戸に決まり、昨日の試合で松本山雅と長野パルセイロのＪ２昇格もなくなりました。プロ野球のセパ両リーグの優勝も阪神タイガース、オリックスブルーウェーブスの関西球団に決まり、サッカー、野球とも関西が大変盛り上がったシーズンでした。また、プロゴルフの賞金王も男女とも決まり、春からスタートした今シーズンのスポーツも続々終わりが見えてきています。

日本だけに限らず、世界ではもっとスケールが大きいですがこれらのプロスポーツにはお金の話がつきものです。今シーズン活躍した人は楽しみなことですが、ダメだった人には憂鬱な時期がやってくると思います。特に、成績が何年もよくなかった選手は、戦力外通告を受けくびになる人もいます。年間何億と稼ぐ人もいれば、明日から職を探さなければいけない人もいるという厳しい世界です。

まあ、一般の世界よりもかなり格差が激しいですが、師走に入ると、世間の風が冷たく感じるようになる今日この頃です。

[会員卓話]　ロータリー財団委員会　窪田秀徳　委員長

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

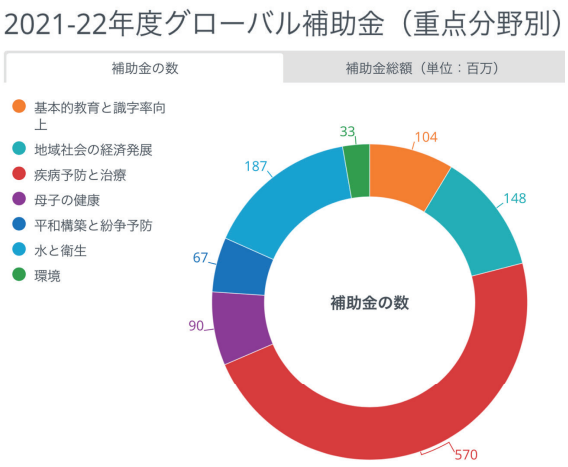
ご寄付が世界にもたらす影響

- わずか60セントで、１人の子どもをポリオから守ることができます
- 50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます
- 500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。

2021-22年度補助金の概要

地区補助金の数	災害救援補助金の数	グローバル補助金の数	大規模プログラム補助金の数
478	207	1,199	1
$27m	$8m	$73m	$2m
授与総額（単位：百万）	授与総額（単位：百万）	授与総額（単位：百万）	授与総額（単位：百万）

●例会/毎週月曜日　12:30～13:30　●会場/上田高砂殿＝上田市天神2-2-2
●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711
e-mail：ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp



ロータリー財団について

当財団は、慈善活動を目的とする公共慈善団体であり、管理委員会によって管理されています（会員制組織である国際ロータリーは、理事会によって管理されています）。

国際ロータリーとロータリー財団の世界本部は、米国イリノイ州エバンストンにあります。当財団の協力財団が、日本、韓国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、ドイツ、インド、英国に設けられています。

バリー・ラシン
2023-24年度管理委員長
East Nassauロータリークラブ バハマ
リーダーからのメッセージ

ロータリー会員である私たちは楽観主義者です。どのような課題にも解決策があると信じ、それを見つけることが行動人としての仕事です。そして今年度は、ユニークな行動と進歩の年となりました。

私たちは、「Each One, Bring One」（みんなが一人を入会させよう）のキャンペーンを通じてロータリーを発展させることに重点を置き、会員数は６年ぶりに増加しました。現在は、クラブでの経験を充実させることに重点を置き、「ビジョンを共有する人びとにリーダーシップ育成と奉仕の機会を提供する開かれた場所」としてロータリークラブとローターアクトクラブを位置づけています。

また、ロータリーの使命の中心である「平和」にも新たに焦点を当てました。ロシアによるウクライナ侵攻から数週間で、ロータリーの会員はリソースとネットワークを駆使して、最も支援を必要としている人びとを援助しました。難民のために家を開放した人もいれば、食料、水、衣類、医薬品を集めて提供した人もいます。ウクライナの災害救援のために、1,500万ドル以上の寄付が寄せられました。また、ポリオ根絶のための5,000万ドルの募金目標を達成し、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団から１億ドルの上乗せ資金を獲得しました。寄付者の惜しみないご支援のおかげで、ロータリー財団は４億3,400万ドルを集め、ファンドレイジング４億1,000万ドルの年次目標を上回りました。

米国テキサス州ヒューストンで開催された2022年国際ロータリー大会では、これらの功績を祝うことができました。2019年以来の国際大会で、私たちは直接集まり、新旧の友人とつながり、ポリオ根絶の大きな進展について学び、大規模プログラム補助金の２回目の受賞者を発表することができました。

経済的、社会的、環境的に多くの困難がある中、クラブや地域社会での奉仕を継続している会員の皆さまに深く感謝いたします。「一つひとつの善行が光を放つ」といいますが、これからもその光を分かち合っていきたいと思います。

シェカール・メータ 2021-22年度会長 国際ロータリー
ジョンF.ジャーム 2021-22年度管理委員長 ロータリー財団

『ロータリー財団とは』

ロータリー財団は、ロータリークラブが世界各地で行う奉仕活動を支援するために設立された財団です。ロータリアン（ロータリークラブの会員）からの寄付を基に、教育、健康、環境、平和の分野で活動を行っています。

主な活動内容は以下のとおりです。

【教育】
- 奨学金の提供
- 職業研修の支援
- 教育施設の建設・修繕
- 教育に関する調査・研究

【健康】
- ポリオ撲滅
- 母子保健の向上
- 感染症対策
- 災害時の医療支援

【環境】
- 水と衛生の向上
- 森林保全
- 気候変動対策

【平和】
- 国際理解の促進
- 紛争解決の支援

ロータリー財団の活動は、世界中の人々の生活をより良くすることに貢献しています。例えば、ロータリー財団の支援により、ポリオは世界からほぼ撲滅されました。また、教育の機会を得られなかった子どもたちが奨学金を受けて学ぶことができ、将来のリーダーとして活躍しています。

ロータリー財団は、世界中のロータリアンの協力によって運営されています。ロータリアンは、それぞれの地域で奉仕活動を行っているだけでなく、ロータリー財団への寄付を通じて、世界規模で社会貢献を行っています。

ロータリー財団の活動は、以下の点で特徴的です。

【ロータリアンの協力による活動】

- ロータリアンは、それぞれの地域で奉仕活動を行っているだけでなく、ロータリー財団への寄付を通じて、世界規模で社会貢献を行っています。

【持続可能な成果を目指す活動】

- ロータリー財団は、短期的な成果だけでなく、持続可能な成果を目指した活動を行っています。

【世界中の人々の生活を向上させる活動】

- ロータリー財団の活動は、世界中の人々の生活をより良くすることに貢献しています。
  ロータリー財団の活動は、世界平和と人類の繁栄に大きく貢献しています。

＜上田ＲＣ寄付予算＞

14,000円 × 3 人 = 42,000円

円安ドル高の影響から、一人当たりの金額をどうするのか方向性を探る必要があります。また、繰越金が増加していることから「特別会計」として繰入れ、そこから捻出することも検討する必要があります。更には、一人当たりの負担額が大きくならないために昨年より検討されてきた「個人の積み立て方式」なども方法の一つではないかと議論されてきています。

[『ロータリーの友』紹介]

雑誌委員会　織　英子　副委員長

[幹事報告]　飯島幸宏　幹事

1．地区事務所
　ロータリー財団寄付明細表
　（2023年10月）
　米山記念奨学会
　　①寄付金納入明細総合表
　　（2023年10月）
　　②寄付金納入明細表（2023年10月）
　　③表彰一覧（2023年10月）
　　④寄付金傾向（2023年10月）
　職業奉仕セミナー資料とＵＲＬ
　2024-2025年度（白鳥年度）「地区委員会委員」ご推薦について
　12月４日㈪「Ｒ財団地区補助金管理セミナー・青少年育成基金助成金説明会」について

2．例会変更　長野北東ＲＣ　12月18日㈪　定受あり
　令和６年１月15日㈪　定受あり
　12月25日㈪　定受なし
　令和６年１月１日㈪　定受なし
　８日㈪　定受なし

3．会報恵送　東近江ＲＣ

[ニコニコＢＯＸ]　滝沢秀一　副委員長

飯島幸宏さん　石井懋人さん
出田行徳さん　伊藤典夫さん
内河　利夫さん　金子良夫さん
上島孝雄さん　柄澤章司さん
北村修一さん　窪田秀徳さん
桑澤俊恵さん　桑原茂実さん　小山宏幸さん　酒巻弘さん
滋野眞さん　春原宏紀さん　関啓治さん　関勇治さん
高橋鼓さん　滝沢秀一さん　田中克明さん　田邉利江子さん
田原謙治さん　林秀樹さん　保科茂久さん　増澤延男さん
三井英和さん　柳澤日出男さん　柳澤雄次郎さん

本日喜投額　29名　￥ 31,000
累　計　￥829,000

[例会の記録]

司会：保科茂久　会場・出席委員

斉唱：「四季の歌」

●出席報告　●会長挨拶　●幹事報告

●会員卓話　国際ロータリー委員会　窪田　秀徳　委員長

●『ロータリーの友』紹介

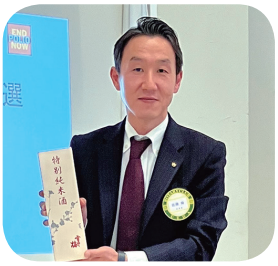
[ラッキー賞]

柄澤章司さん(藤森幸路さんより韓国のおみやげ
インジョルミ《きな粉餅》)

金子良夫さん(小林浩太郎さんより鹿児島のおみやげかつお節)

佐藤　倫さん(滋野眞さんより雪中梅　特別純米酒)

酒巻　弘さん(飯島幸宏さんより広島のおみやげ
生もみじまんじゅう)



[出席報告]

保科　茂久　委員

	本日	前々回(11/ 6)
会　員　数	53	53
出席ベース	51	50
出 席 者 数	40	41
出席免除(b) ( )内は出席者数	5(3)	5(2)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ( )内は Make up 後		5(46) コロナ欠席 1
出　席　率	80.39	94.00

[本日のメニュー]

●筑前煮　●唐揚げ

●春巻き　●海老フライ

●鰆　●玉子焼き

●玉子ポテトサラダ

●ご飯(胡麻塩がけ)

●味噌汁

●しば漬け

[次回例会予定]

12月11日(月)　年次総会
『ロータリーの友』紹介

(12月４日発行)

【会報担当】　関　勇治　副委員長

「ロータリーの友」の歴史　創刊まで

『友』創刊号

1952(昭和27)年４月25日、大阪市で開かれた地区大会では、次年度(1952－53年度)から日本が２つの地区に分割されることが決定していました。それまで一つの地区としてまとまっていた日本のロータリアンが２地区に分かれるわけですから、寂しさと期待の入り交じった雰囲気が当時の人たちにはあったようです。そのようなロータリアンの気持ちから、２地区になってからも連絡を緊密にするため、共通の機関誌の創刊が企画されました。

第１回の準備会は大阪で開かれました。大阪ロータリークラブの星野行則氏がガバナーであったこともあり、同クラブの露口四郎氏が幹事役となって開催されました。東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブ代表者が出席しました。共通の雑誌ということでしたが、東と西では雑誌に対するイメージがかなりくい違っていました。西の星野氏は謄写版刷りの簡単なものでよいから早くという意見でしたし、東では謄写版では手軽すぎて恒久性がない、はじめからある程度きちんとしたものを望むという考えでした。最初の会合では具体案の作成までには至りませんでした。

第２回の準備会が岐阜ロータリークラブの遠藤健三氏の世話で、1952年７月、岐阜・長良川畔の大竹旅館で開かれました。この時は、第１回の準備会よりも具体的になり、議論も沸騰したようです。ここで下記の内容が決定しました。

①編集委員は合議制とする。②東京で発行する。③定価50円とするが、広告を取って100円の内容のある雑誌とする。④名称は『ロータリーの友』とする。⑤横書きとする(横書き、縦書きで意見が分かれ、各クラブの意向をうかがうため一般投票を行ったところ、２対１の割合で横書きが採用されることになった)。

⑥創刊は1953年１月号とする。